タイピング練習の文章集 No.09

年末年始のあいさつ

初級 年賀状の書き出しや、年末年始によく使う短いあいさつ　186字

1. あけましておめでとうございます。
2. 謹んで新年のお喜びを申し上げます。
3. 新春のお喜びを申し上げます。
4. 本年もよろしくお願いいたします。
5. 旧年中は大変お世話になりました。
6. 良いお年をお迎えください。
7. 今年も一年ありがとうございました。
8. 寒中お見舞い申し上げます。
9. 皆さまのご健康をお祈りいたします。
10. 年末年始の休業のお知らせ
11. 新年あけましておめでとうございます。
12. 本年もどうぞよろしくお願いします。

中級 年賀状の添え書きや、寒中見舞いの一文。句読点と変換もいっしょに　270字

1. 昨年はいろいろとお世話になり、ありがとうございました。
   （年賀状の添え書き）
2. ご家族の皆さまにとって、すてきな一年になりますように。
   （年賀状の添え書き）
3. なかなか会えずにいますが、今年はぜひ食事に行きましょう。
   （友人への年賀状）
4. おかげさまで、家族みんな元気に新しい年を迎えました。
   （近況を伝える添え書き）
5. 寒い日が続きますので、どうぞお体を大切にお過ごしください。
   （年賀状・寒中見舞い）
6. ご丁寧な年賀状をいただき、ありがとうございました。
   （寒中見舞い（返事が遅れたとき））
7. ご服喪中と伺い、年始のごあいさつを控えさせていただきました。
   （寒中見舞い（喪中の方へ））
8. 本年も変わらぬお付き合いのほど、よろしくお願いいたします。
   （仕事の年賀状）
9. 年内の営業は、12月28日までとさせていただきます。
   （年末のお知らせ（日にちは例））

授業・家庭・社内研修で自由に印刷・配布できます（販売や、手を加えて自分の作品として配ることはできません）　タッチタイピング研究所　https://touch-typing.com/download/typing-texts/new-year-greetings/

10. 新年は1月5日から、通常どおり営業いたします。

（年始のお知らせ（日にちは例））

上級 年末のお礼や仕事始めのメール全文。〇〇・△△は、自分の名前や会社名に置きかえて打ちます　661字

1. 件名：年末のごあいさつ

〇〇株式会社
△△様

いつもお世話になっております。□□の◇◇です。
今年も残りわずかとなりました。
本年は、新しい企画の立ち上げにあたり、たくさんのお力添えをいただき、誠にありがとうございました。
おかげさまで、無事に形にすることができました。
来年も、より良いものをお届けできるよう努めてまいります。
なお、弊社は12月29日から1月4日まで休業いたします。
寒さが厳しくなってまいりましたので、どうぞお体に気をつけて、良いお年をお迎えください。

---

2. 件名：新年のごあいさつ

〇〇株式会社
△△様

新年あけましておめでとうございます。□□の◇◇です。
旧年中は格別のお引き立てをいただき、心よりお礼申し上げます。
本日より、通常どおり業務を始めております。
本年も、皆さまのお役に立てるよう取り組んでまいりますので、変わらぬご指導のほど、よろしくお願いいたします。
皆さまのご健康とご発展をお祈り申し上げます。

---

3. 年賀状（友人へ）

あけましておめでとう。
去年は久しぶりに会えて、本当に楽しかったです。
春から新しい仕事を始めたので、毎日が少しずつ新鮮です。
今年は、前から話していた温泉旅行に行けたらいいなと思っています。
寒い日が続くので、風邪をひかないように気をつけてね。
今年もよろしくお願いします。

授業・家庭・社内研修で自由に印刷・配布できます（販売や、手を加えて自分の作品として配ることはできません）　タッチタイピング研究所　https://touch-typing.com/download/typing-texts/new-year-greetings/

4. 寒中見舞い（喪中の方へ）

寒中お見舞い申し上げます。
ご服喪中と伺い、年始のごあいさつは控えさせていただきました。
寒さが厳しい折、どうかご無理をなさらず、お体を大切になさってください。
本年も変わらぬお付き合いのほど、よろしくお願い申し上げます。

※ 2027年用の年賀状は、受付（引受）が2026年12月20日（日）から始まり、元日に届けるには12月27日（日）までに出すよう、日本郵便が案内しています（2026年8月31日の発表。従来の12月15日から繰り下げ。確認日：2026-11-11）。12月19日以前に出すと年賀状としてではなく、ふつうの郵便として届いてしまうので注意しましょう

※ 寒中見舞いは、松の内（1月1日〜7日、地域によっては15日まで）を過ぎてから年賀状の返事を出すときや、昨年喪中だった方への新年のあいさつに使い、立春の前日（2月3日）ごろまでに出すと、日本郵便の資料で紹介されています

※ 文例はすべて当サイトのオリジナルです。実際に送るときは、相手との間柄に合わせて言葉を選んでください

出典

日本郵便「2027（令和09）年用年賀はがき等の発行・販売（2026年8月31日 発表）」
日本郵便「年賀状の引受は何日からですか？（よくあるご質問）」
日本郵便「寒中見舞いについて（PFC 資料）」

授業・家庭・社内研修で自由に印刷・配布できます（販売や、手を加えて自分の作品として配ることはできません）